

埼玉県議会議員



柿沼貴志

郷土の声を県政に



希望の芽を出せ柿の種

柿沼貴志のプロフィール

- 昭和50年11月11日生まれ
- おもと幼稚園～桜ヶ丘小学校～長野中学～羽生第一高校
- 小中と野球少年だったが、高校から空手道に励む
- 趣味:自転車、野球、ソフト、カラオケ
- 平成23年行田市議会議員に初当選(1,759票)
- 平成27年 県議選初挑戦(12,752票 次点)
- 平成31年 県議選に於いて 15,253票の信託を頂き初当選
- 無所属県民会議(14名第二会派)にて活動中!
- 朝の清掃&挨拶活動は9年目に突入、1,000回を超え継続中!
- 県民の声を県政に届ける為各地でミニ集会を実施中!

発行 連絡先 埼玉県議会議員 柿沼貴志 事務所 〒361-0077 行田市忍2-17-12

TEL 048-554-1377 / FAX 048-577-3154 e-mail : takashi-kakinuma@mbr.nifty.com

柿沼貴志 | 検索



令和2年 9月補正予算

877億 4,996万2千円
21億 3,961万1千円
414億 7,054万5千円

令和2年 9月追加補正予算

累計予算額

2兆 3,083億 9,014万 4千円

主な内容

感染拡大期に対応した医療提供体制の整備

- ◆入院医療機関の体制整備への助成
- ◆専用医療施設の整備への助成
- ◆軽症者等を受け入れる宿泊療養施設の更なる確保
- ◆医療機関の持続可能な経営に向けたオンライン研修の実施

県内経済活動の回復と「新しい生活様式」への対応

- ◆観光応援キャンペーン等による観光関連事業者への支援
- ◆中小企業のオンラインでの販路開拓に向けた支援
- ◆就業支援サテライトにおける相談業務等のオンライン化
- ◆テレワーク等の推進に伴う庁内ネットワーク環境の強化

指定管理者制度導入施設における感染症対策に伴う委託料等の増額

- ◆さいたまスーパーアリーナなど27施設

感染拡大等に伴う予算執行の見直し

- ◆東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業
- ◆その他のイベント関連事業等

市町村に対する高齢者等のインフルエンザワクチン接種費用(自己負担相当額)の補助

- ◆令和2年10月1日から12月31日までのワクチン接種分 検査・医療提供体制の強化

- ◆インフルエンザの流行期における発熱患者増加に備えた抗原検査費用の増額

- ◆県が指定する「診療・検査医療機関(仮称)」の体制確保支援 体制整備のための協力金の創設

- ◆国が配布する個人防護具の保管・配送
- ◆重点医療機関に対する病床確保料の増額

生活に困っている人々への支援

- ◆生活福祉資金の特例貸付の受付期間延長に伴う補助金の増額

その他

- ◆新型コロナウイルス感染症対策推進基金への積み立て
- ◆知事等の給与の特例減額
- ◆予備費の増額

高齢者の方はインフルエンザワクチンの定期予防接種が無料です



◆対象になる方

※原則、医療機関窓口での自己負担はありません

- ①65歳以上の方
- ②60～64歳で心臓、肝臓や呼吸器の機能に障がいがあり、身の日常生活が極度に制限される方
- ③60～64歳でヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障がいがあり、日常生活がほとんど不可能な方

◆補助対象期間

10月～12月のワクチン接種分 (※来年1月以降の接種は自己負担となる場合があります)

◆問合せ先

行田市在住の方は下記へ (※それ以外の方はお近くの保健センターへ)

行田市保健センター 048-553-0053



県政に対するご意見ご要望は 柿沼貴志事務所までご連絡ください



県政報告、ミニ集会、講演依頼等市内何処でも お伺い致しますのでお気軽にお声がけください

トピックス



文教委員会

県立高校にプロジェクターの設置 (財産の取得)

- ◆ 超短焦点プロジェクター1,068 台 取得金額 2 億 1,780 万円
- ◆ 大型映像装置設置率 48.3%(埼玉県) 59.2%(全国)
- ◆ 現時点での機械の活用 32%(全教科) 38%(5 教科)
- ★ 質疑 機械に頼りすぎると教師の質の向上に支障ないか?
- ★ 答弁 ICT 教育とリアル授業のベストミックスを図り、全体を通して効率的に質の向上に努める



公社事業対策特別委員会

(株)さいたまリバーフロンティア指導の考え方

- ◆ 県内 4ヶ所(吉見・大麻生・上里・妻沼)ゴルフ場運営
- ◆ 台風の影響で冠水の為、整備があり 8,200 万円赤字
- ◆ コロナ対策を徹底しながら利用者回復の周知に努める
- ◆ 妻沼ゴルフ場は今年 6 月末閉鎖→土地は国に返還する
- ★ 質疑 閉鎖後の妻沼ゴルフ場の従業員への対応は?
- ★ 答弁 一人も解雇することなく、3施設への異動を行った

第 100 号議案「知事等の給与の特例に関する条例」「議員報酬と期末手当を 20%減額する条例」が自民党会派のみの反対で否決されました

月額給与 知事 30% 副知事 20% 特別職 10%減額
総減額分の735万円は新型コロナ対策推進基金に積み立てるものでした

無所属県民会議提案の議員報酬の削減についてもパフォーマンスになるという理由で否決されました

産経新聞 令和 2 年 10 月 7 日付



議員報酬の減額案
■ 県議会会派「無所属 県民会議」が提案
■ 議員報酬と期末手当の20%削減定める

テレビ埼玉 令和 2 年 10 月 9 日放送

県議報酬2割削減を
無所属県民会議が条例案
無所属県民会議は、議員報酬の削減を求め、議員報酬と期末手当の20%削減を提案した。議員報酬の削減は、議員の質の向上に支障をきたすおそれがあるとして、否決された。議員報酬の削減は、議員の質の向上に支障をきたすおそれがあるとして、否決された。

柿の種
架け橋
プロジェクト

市民の皆様へ頂いたご意見をしっかりと県に働きかけをし様々な安全安心を実現しています。



昨年の台風 19 号で越水した市内の忍川

「浚渫と堤防強化」や「かさ上げ工事」を行っています



地元要望を大野知事に届けました!

- ★ さきたま古墳群の更なる活用
 - ★ 学校教育の相談体制強化等
- 無所属県民会議会派で 698 項目の県への要望を直接知事に手渡しました



以前

現在の様子



皿尾橋付近のヨシの刈り取りを行いました

以前

現在の様子



持田付近の国道 17 号熊谷バイパスで分断されていたランニングコースの歩道整備を行いました

政策実現 県の補助金を活用したり、県の取組みを真似したり、県の力で戸田市もパワーアップできます！

猫の不妊等手術費助成を創設！

私は、市議会議員の頃から「殺処分ゼロ」を目指し、地域猫活動に熱心に取り組んできました。

戸田市では平成27年度から3か年にわたり県補助金を活用し動物愛護団体への補助を始めましたが、私は同時に個人ボランティアの方への補助も求めてきました。

皆さんの熱意が伝わり、戸田市では令和2年度から県補助金を活用し個人ボランティアの方への補助制度が新設されました。



補助額：1頭あたり上限5,000円(性別不問)
 手続き：申請書の提出、実績報告等
 問い合わせ：戸田市役所環境課

市役所の電話保留音が「ああわが戸田市」に！

埼玉県庁の電話保留音は埼玉県歌です。そこで、私は少しでも戸田市に愛着を持ってもらえるように、戸田市役所の電話保留音も戸田市歌「ああわが戸田市」にしてはどうかと提案していました。

これを受けて、戸田市役所では、令和元年より、電話保留音が「ああわが戸田市」になりました。なお、費用は掛かっていません。

ぜひ、皆さんも電話をする際、聞いてみてくださいね。



かすむ秩父の山なみに 春もうららの荒川よ
 木々もみどりの芽をふいて 風にゆれてる
 桜草 ああ わが戸田市 ふるさとよ

ご意見対応 皆さんの声を大切に、フットワーク軽く、対応していきます！

①大前交差点に歩行者用信号機を付けてほしい

地域の方から「大前交差点(オリンピック通り)の歩行者用信号を付けてほしい」とメールをいただきました。ここは交通量の多い交差点で、歩行者用信号が必要だと考え、埼玉県警察本部に要望しました。



③さくら川で遡上した鯉が大量死しそうだ

地域の方から「さくら川で遡上した鯉がフェンスに引っかかって大量死しそうだ」とメールをいただきました。担当課によれば、毎年遡上する鯉の対策に新たに設置したフェンスが倒れたとのことなので、安全対策を徹底するよう求めました。



②下戸田交差点に歩行者用信号を付けてほしい

地域の方から「下戸田交差点(国道17号)に歩行者用信号を付けてほしい」とメールをいただきました。ここは交通量が多い上、見通しも悪い交差点であり、埼玉県警察本部に要望しました。



④県立高校のすべての教室にエアコンを設置してほしい

県立高校の保護者の方から「県立高校のすべての教室にエアコンを設置してほしい」とメールをいただきました。県教育委員会によれば約450億円の予算が必要であり、財政的に難しいことがわかりましたが、引き続き要望して参ります。



編集後記

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。不要不急の外出を止めるとともに「3密」を避け、ご自身と大切な人の命を守る行動をとりましょう。皆さんと心をつなげてこの国難ともいえる危機的状況を乗り越えたいと思います。
 金野 桃子

ご協力をお願い

「地盤・看板・カバンなし」のクリーンな活動を支えてくださる方を募集しています。ご寄付、事務作業、ポスティング等、ご協力いただける内容をお知らせください。
 〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
 無所属県民会議戸田支部 こんの桃子 048-235-5358

埼玉県議会議員 無所属 県民会議

ももこ

31号

こんの桃子



【経歴】昭和58年3月2日生、新曽小学校、頌栄女子学院中学校・高校、慶應義塾大学、慶應義塾大学大学院法務研究科(法務博士(専門職))、内閣府非常勤職員、国会議員公設秘書、戸田市議会議員(1期目3,148票、2期目3,468票、連続第1位で当選)、埼玉県議会議員(13,610票、戸田市初の女性県議として当選)【所属】政党無所属、手話検定1級、書道準初段、防災士【連絡先】〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F TEL: 048(235)5358 FAX: 020(4669)8668 ホームページ: http://konnomomoko.com/ メールアドレス: info@konnomomoko.com



緊急 新型コロナウイルス感染症対策に会派一丸となって取り組みます！

新型コロナウイルス感染症が世界で猛威を振るっています。埼玉県では県内の陽性確認者数356人(4月11日18時30分現在)、東京都の緊急事態措置も踏まえ、埼玉県としても緊急事態措置を行いました。戸田市での陽性確認者数は15人です(4月15日時点)。

本緊急事態措置は4月7日(火)に発出した緊急事態措置(第1弾)に続く第2弾となり、令和2年4月13日(月)から5月6日(水)までです。

◆緊急事態措置相談センター

電話:048-830-8141

開設時間: 9時00分~18時00分(土日・祝日も実施)

◆埼玉県-新型コロナ対策

パーソナルサポート
(LINEアカウント)



◆埼玉県新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター

電話:0570-783-770

受付時間: 24時間(土日・祝日も実施)
 FAX: 048(830)4808(聴覚に障害のある方をはじめ、電話での相談が難しい方は、FAXをご利用ください。)

◆戸田市新型コロナウイルス対応窓口

電話:048-446-7273

9時00分~17時00分
(土日・祝日を除く)

無所属県民会議 新型コロナウイルス感染症への無所属県民会議の取組み

無所属県民会議では、新型コロナウイルス感染症に対し、一早く対応して参りました。政治は、命と安全を守るものであり、国難ともいえるこの危機的状況に会派一丸となって臨みます。

- 2月4日 「新型コロナウイルスによる肺炎への対策を求める緊急要請」を知事に提出。
- 3月4日 国の一斉休校要請に対するご意見をまとめ、「県民の声」として知事と教育長に提出。
- 3月19日 令和2年度予算特別委員会にて、会派を代表し石川忠義議員が、将来的な歳入不足を知事に質疑。
- 3月23日 急遽本会議を開いて新型コロナウイルス感染症に関する補正予算を審議、全会一致で可決。
- 3月27日 「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急対策を求める意見書」を共同提案・可決し国に提出。
- 4月6日 県立学校の休校期間延長や医療体制の強化などを「県民の声」として知事に提出。



提出した要請書等は
こちらで
ご覧いただけます。



一般会計

1兆9,603億1,500万円
(前年度比3.8%増)

全会計合計

(一般会計・特別会計・企業会計)

3兆4,508億5,773万9,000円
(前年度比0.8%減)

安心・元気のスタートアップ予算

1 安心・安全しっかり確保

- (1)災害に強い埼玉の構築
- (2)県民の安全強化
- (3)医療体制の充実



コバトン

2 持続可能な成長・発展

- (1)東京オリパラに向けた取組み
- (2)埼玉の稼げる力の向上
- (3)未来を見据えた基盤づくり



コバトン

3 誰もがいきいき活躍

- (1)人生100年を見据えたシニアの活躍推進
- (2)子育て応援埼玉
- (3)誰もが活躍できる社会の実現



コバトン

5か年計画に基づく各施策の推進

1 未来への希望を実現する

- ・不妊治療への支援 11億2,000万円
- ・幼児教育・保育の無償化 161億3,000万円
- ・健康長寿埼玉プロジェクトの推進 3億7,100万円

2 生活の安心を高める

- ・救急医療体制の整備 13億7,500万円
- ・交通安全施設の整備 36億700万円
- ・防災関連公共事業 438億2,800万円

3 人財の活躍を支える

- ・特別支援学校の整備 37億2,000万円
- ・私立学校運営費助成 356億7,900万円
- ・放課後児童クラブへの支援 58億8,400万円

4 成長の活力をつくる

- ・商工団体等を通じた小規模事業者への経営支援 30億9,200万円
- ・渋沢栄一翁を軸とした観光振興 8,600万円
- ・「あと数マイル」プロジェクト 128億4,000万円

5 豊かな環境をつくる

- ・埼玉版SDGsの推進 800万円
- ・埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進 3,900万円
- ・県営公園整備の推進 45億8,600万円

6 魅力と誇りを高める

- ・東京2020オリパラ成功に向けた取組み 16億2,900万円
- ・彩の国いきがい大学の刷新 1億1,900万円
- ・外国人観光客100万人誘致 8,100万円

新型コロナウイルス感染症関連予算

1 県民相談体制の強化

- ・専用電話相談窓口「県民サポートセンター」の運営 2億949万円
- ・啓発用リーフレットの作成 292万6,000円

2 検査・医療提供体制の強化

- ・感染症検査体制の整備 4,000万円
- ・医療機関受診体制の整備 約1億3,518万円
- ・入院医療費の公費負担 約3,005万円

3 感染者フォローアップ体制の整備

- ・13保健所に看護師を派遣 3,562万円

4 感染拡大防止対策の実施

- ・医療機関へのマスク・消毒液の配布 6,818万円
- ・介護施設等における多床室の個室化改修への助成 約4億7,383万円

5 検査体制の強化

- ・保険適用PCR検査の公費負担 6,435万円

6 中小企業への支援

- ・経営安定資金及び経営あんしん資金の融資利率の引下げ(令和2年度支出分6,000万円、令和3年度以降支出分(債務負担行為の設定)限度額9億9,200万円)

企画財政委員会

埼玉県では、2017年から3年間にわたり取り組んできた「行財政改革プログラム」を統括し、新たに目指すべきである「日本一暮らしやすい埼玉」を実現するため不断の行財政改革を推進しています。

<行財政改革大綱の方向性>

- ①県庁のICT化・働き方改革
- ②多様な主体との連携・県民参画の推進
- ③経営感覚を持った行財政運営

特に私は、市議会議員の頃からテレワークの推進に取り組んでおり、県庁においてもテレワークの推進を求めました。テレワークは行財政改革の〇以外にも、昨年の台風19号や今回の新型コロナウイルス等の災害時に必要であり、多角的に取り組む必要があると指摘しました。



企画財政委員会

経済・雇用特別委員会

埼玉県では、広域交通網等の優位性をアピールして企業誘致を行っています。その結果、過去10年の本社転入超過数が全国1位となり、経済効果は投資総額約1兆7,726億円、新規雇用34,791人です。

今後は、産業用地の創出に取り組みます。

また、埼玉県は先端産業創造プロジェクトにも取り組んでいます。新技術・製品化開発支援等を行い、累積売上高は38.3億円に上ります。

今後は、ものづくり中小企業のAI・IoT化支援を行います。



経済・雇用特別委員会

議会改革 若い世代や女性の声、皆さんの声をしっかり県政に届けて参ります！

県議会にベビールーム

昨年12月に女の子を出産し(現職の県議会議員としては初めての事例)、産後8週が明ける2月定例会から議会に復帰しています。

ただ、産後8週(生後2か月)では預け先がなく、また授乳のタイミングもあったため、復帰にあたり使われていなかった空き部屋を「子育てルーム」として使わせていただけることとなり、子どもを連れて登庁しました。

仕事復帰にご理解とご協力をいただいた皆さんに深く感謝しています。今後は、女性や子育て世代の議員が議会で活動できるよう取り組むとともに、「子育てルーム」を来庁者の皆さんも使えるようにしていきたいと思っています。



子育てルーム



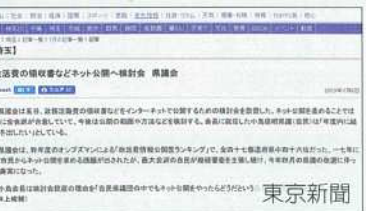
県議会にベビールーム

毎日新聞

政務活動費領収書のインターネット公開

無所属県民会議がかねてより訴えていた政務活動費領収書のインターネット公開がよいよ進みます。無所属県民会議が協議を呼びかけ、検討会の設置が決定しました。

これからも議会の透明性・公開性を訴えて参ります。



お茶出し職員の廃止

同じく無所属県民会議が廃止を訴えてきたお茶出しのための女性職員の採用も廃止されました(年間約37万円)。これからは議員自らが水筒等を持参します。

お茶出しのために女性を雇うというのは時代錯誤であり、遅きに失した対応ですが、一歩前進です。



埼玉県議会「お茶出し専門、職員廃止」

「お茶出し、専門7人の女性臨時職員」

「当の2月定例会からお茶出し廃止」

埼玉県議会の常任委員会・特別委員会

出席した委員や県の部長など

委員会が中断するたびテレビ報道

近年、スマートフォンの普及や技術の進歩により、高性能で小型のカメラやカメラ機能を搭載した機器が普及し、公共の場所や公共の乗物以外の場所における盗撮行為が多発し、被害者が増大しています。現行の迷惑行為防止条例では規制の対象になっていない空間が多いことから、盗撮の規制範囲を拡大することが求められています。

こうした現状を踏まえ、無所属県民会議では、「埼玉県迷惑行為防止条例改正プロジェクトチーム」を立ち上げ、条例改正に向けて検討を重ねてまいりました。

主な改正点として、現行の他、「不特定または多数の人が入れ替わり立ち替わり利用する場所・乗物」などを新たな規制対象場所とします。

規制範囲を広げる事により、「盗撮」行為と被害者を減らし安全安心の埼玉県を構築します。



迷惑行為等防止条例改正プロジェクトチーム

＜主な改正点＞

- 1 目的**
卑わいな行為として盗撮行為を規制する場所等を拡大し、罰則を強化するとともに、不当な客引行為等の禁止に関する規定を見直すことを目的とします。
- 2 規制の内容**
 - (1) 目的規定の表現を修正
「県民生活」→「県民及び滞在者の生活」
 - (2) 盗撮行為の規制する場所等の拡大
従来「公共の場所又は乗物」に限定していたところ、以下の場所等に拡大と写真機を設置すること。
ア 住居、便所、浴場、更衣室その他、人が通常衣服の全部又は一部を着けない状態にいるような場所
イ 公共の場所、公共の乗物、教室、事務所、タクシーその他不特定又は多数の者が出入りし、又は利用するような場所又は乗物
 - (3) 不当な客引行為等の禁止に関する規定の見直し
「異性の客をもてなし」→「客をもてなし」
 - (4) 卑わいな行為に関する罰則の強化
「6月以下の懲役又は50万円以下の罰金」
→「1年以下の懲役又は100万円以下の罰金」
常習の場合「2年以下の懲役又は100万円以下の罰金」

ご意見対応 壊れた標識等があれば、ご連絡ください！

①ボートコースの水草・アオコがひどい

市内の複数の方から「ボートコースの水草・アオコがひどい」とのご意見を頂いています。すでに県としても毎年約7,000万円の予算を講じて対策をしていますが、更に議会で対策を求めました。



ボートコース

③「生まれ」標識の電球が切れている

浅生市議より、「『生まれ』標識の電球が切れている」とご連絡を頂き、すぐに警察に改善を要望し、即時に修繕をして頂きました。



before

after

②美女木6丁目(北)交差点に歩行者用信号を付けてほしい

浅生市議よりご自身が見守り活動を行っている「美女木6丁目(北)交差点に歩行者用信号を付けてほしい」とご要望を頂きました。警察に要望し、設置に向けて協議を行協議を行い、今年度中に設置予定です。



美女木六丁目(北)交差点

④コロナ給付金の対象にNPO法人を含めてほしい

市内NPO法人の方から「コロナ給付金にNPO法人を含めてほしい」とご要望を頂きました。その後、NPO法人もコロナの影響を受け支援が必要と考え、会派として県知事に要望し、第二弾給付金からNPO法人も給付対象となりました。



無所属県民会議

編集後記

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るっています。新型コロナウイルスを正しく知り、正しく怖がるのが大切です。うがい・手洗い・換気・消毒を徹底し、自分がかからない・人に移さないように気を付けていきましょう。
金野 桃子

ご協力をお願い

「地盤・看板・カバンなし」のクリーンな活動を支えてくださる方を募集しています。ご寄付、事務作業、ポスティング等、ご協力いただける内容をお知らせください。
〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
無所属県民会議戸田支部 こんの桃子 048-235-5358

埼玉県議会議員 無所属 県民会議 ももこ

こんの桃子



33号



facebook

【経歴】 昭和58年3月2日生、新曽小学校、頌栄女子学院中学校・高校、慶應義塾大学、慶應義塾大学大学院法務研究科(法務博士(専門職))、内閣府非常勤職員、国会議員公設秘書、戸田市議会議員(1期目3,148票、2期目3,468票、連続第1位で当選)、埼玉県議会議員(13,610票、戸田市初の女性県議として当選)【所属】 政党無所属、手話検定1級、書道準初段、防災士【連絡先】 〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F TEL: 048(235)5358 FAX: 020(4669)8668 ホームページ: http://konnomomoko.com/ メールアドレス: info@konnomomoko.com



埼玉県ニュース 校名が「戸田かけはし高等特別支援学校」に決定！

令和3年4月に、戸田翔陽高校内に特別支援学校が設置される予定ですが、その学校の名前が「戸田かけはし高等特別支援学校」になることが決定しました。名前の由来は、戸田翔陽高校や地域の連携を推進し、障害のある人とない人をつなぐ、共生社会の地域モデルとなる学校をイメージさせることや、「かけはし」は、地元戸田市の荒川を連想させ、地域からの親しみを感じさせることです。



戸田かけはし高等特別支援学校

埼玉県学校設置条例の一部を改正する条例

令和3年4月開校 県内で初めて高校敷地内に、新たな特別支援学校を設置

埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校

設置の趣旨

県南部地域の特別支援学校の児童生徒増に対応

学校の概要

- 設置場所 戸田市大字新首字福荷1093番地1 (戸田翔陽高校敷地内)
- 設置学階 知的障害・高等部(普通科)
- 設置規模 240人程度
- 通学区域 戸田市 川口市 蕨市



戸田かけはし特別支援学校

埼玉県知事記者会見

埼玉県議会ニュース 知事会見・埼玉県議会に手話通訳者を配置！

県知事会見に手話通訳者を配置！

コロナ禍において全国の知事会見に手話通訳が設置されている中、埼玉県では知事会見に手話通訳が設置されていませんでした。私のもとにも県内の聴覚障がい者の皆さんからご要望を頂き、会派として手話通訳の設置を要望しました。

その他多くの要望を受け、知事会見に手話通訳が設置されました。5月1日から年度末まで、予算額は660万円です。

引き続き、障がいのある方の情報保障の確保に取り組みます。



会派予算要望



知事会見の手話通訳

県議会に手話通訳者を配置！

埼玉県議会ではこれまで議場に常設の手話通訳はありませんでしたが(傍聴者で手話通訳を希望する場合は事前申し込みにより設置可能)、6月定例会では試行的に手話通訳が設置されました。開会日、一般質問、閉会日の計7日間で予算額は166万円です。実施後に結果を検証し、効果や課題を検証します。

私は、手話通訳の試行を実際に議場で見て、手話検定1級の知識と経験を活かし、「手話通訳者の立ち位置を発言者に近い場所にすること、難しい行政・政治用語を的確に手話通訳するのは難しいこと、字幕の設置が望ましいこと」等を指摘しました。

引き続き、議会への手話通訳の常設を求めて参ります。




議場の手話通訳

6月定例会 新型コロナウイルス感染症対策として過去最大の補正予算を可決！

補正予算 第4号 53億203万3千円 補正後累計 2兆178億4,448万6千円

概要 新型コロナウイルス感染症対策に係る緊急事態措置期間の延長に伴い、厳しい経営状況にある県内事業者に対する支援を実施するため、「埼玉県中小企業・個人事業主追加支援金」の支給に要する経費について補正予算を措置した。

内容 休業した中小企業・個人事業主への支援金（追加分）の支給



コパトン

補正予算 第5号 107億4,118万1千円 補正後累計 2兆285億8,566万7千円

概要 新型コロナウイルス感染症対策として検査・医療提供体制の更なる強化を図るとともに、県内事業者への支援や児童生徒の学びの機会の確保等に要する経費について補正予算を編成した。

<p>○ 感染拡大防止と第2波への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> 抗原検査の導入や民間検査機関におけるPCR検査体制の拡充 重症患者治療体制を強化するためのTele-ICU体制整備への助成 市町村が実施する新型コロナウイルス感染症対策事業への助成 	<p>14億5,527万6千円</p> <p>7,900万円</p> <p>10億4,500万円</p>	<p>○ 地域経済活動の回復に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 飲食店等の休業により需要が急減している県産和牛肉等の消費拡大 「新しい生活様式」を踏まえた取組を行う商店街への支援 	<p>6億4,244万8千円</p> <p>4,326万円</p>
<p>○ 中小企業に対する資金繰り支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対応資金及び経営安定資金の融資枠の更なる拡大 	<p>(融資枠：8,000億円 → 1兆2,000億円)</p> <p>うち令和2年度支出分 56億2,690万円</p> <p>うち令和3年度以降支出分 <債務負担行為の設定> 限度額：127億5,710万円</p>	<p>○ 学びの機会の確保に向けた環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立学校におけるICT環境の早期整備による遠隔学習機能の強化 児童養護施設等におけるオンライン学習の環境整備への助成 公立小・中・高等学校等への学習指導員の追加配置 	<p>7億4,963万8千円</p> <p>6,050万円</p> <p>1億2,179万1千円</p>
		<p>○ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童虐待や自殺予防のための相談体制の強化 新型コロナウイルス感染症対策推進基金への寄附金の積み立て 豚熱の発生予防・まん延防止に係る費用への助成 	<p>3,493万6千円</p> <p>1億,525万円</p> <p>1,526万円</p>

補正予算 第6号 1,484億4,435万9千円 補正後累計 2兆1,770億3,002万6千円

概要 国の補正予算に迅速に対応し、新型コロナウイルス感染症の事態長期化・第2波に備えるため、医療提供体制の強化や医療・介護従事者等を支援するとともに、中小企業・個人事業主等への家賃支援などに要する経費について補正予算を編成した。

<p>○ 医療提供体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点医療機関に対する病床確保・設備整備への助成 医療機関・薬局等の院内感染防止対策への助成 クラスター化を防止するコロナ対策チーム(COVMAT)の設置・運営 	<p>285億6,723万円</p> <p>204億8,734万1千円</p> <p>1億1,509万7千円</p>	<p>・地域公共交通における感染防止対策や運行継続への支援</p> <p>○ 中小・小規模事業者等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 中小企業・個人事業主等に対する家賃への支援 テレワークを導入する県内企業等への更なる支援 	<p>2億604万円</p> <p>120億2,354万7千円</p> <p>6,347万8千円</p>
<p>○ 医療・介護従事者等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療従事者等への慰労金の支給 介護施設等の職員への慰労金の支給 感染症治療に対応する医療従事者への支援 	<p>178億4,950万円</p> <p>193億,250万8千円</p> <p>1億6,000万円</p>	<p>○ 児童生徒・保護者への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村立小・中学校における学習指導員等の追加配置に対する助成 保護者が負担する修学旅行キャンセル料への支援 	<p>24億856万円</p> <p>1億8,402万3千円</p>
<p>○ 感染拡大防止対策等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護施設等における感染防止対策やサービス再開に向けた支援 幼稚園及び県立学校における感染防止対策 	<p>104億1,343万7千円</p> <p>12億3,571万1千円</p>	<p>○ 生活に困っている人々への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活福祉資金の特例貸付に対する助成 ひとり親世帯臨時特別給付金の支給 	<p>136億6,794万1千円</p> <p>5億4,405万円</p>
		<p>○ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策推進基金への積み立て 	<p>1億5,536万6千円</p>

環境農林委員会 学校給食で県産和牛肉を提供！ 戸田市でも提供へ！

環境農林委員会では、新型コロナウイルス感染症対策の補正予算、埼玉県手数料条例の一部改正する条例、指定管理者(埼玉県農林公園、埼玉県農民の森、埼玉県みどりの村、埼玉県森林科学館、埼玉県種苗センター等)に係る事業報告書及び事業計画書等について審議しました。



このうち、学校給食で県産和牛肉を提供する事業があり、(予算総額6億4,244万円(国庫負担10分の10))、1人1回100g以内で年間3回を上限に県産和牛が食育教材とともに提供されます。

同事業について、私は、①県産和牛肉等を学校給食で使用することを希望している学校は全校の半分以下だが、募集を改めて行うのか、②新型コロナウイルス感染拡大



による消費の落ち込みを支援する、というこの事業の目的は子供や保護者などに周知するのが、を質疑しました。

これに対し、畜産安全課長より、①新型コロナウイルス感染拡大により県産畜産物も影響を受けているため、6月に県産畜産物の消費拡大の協力を市町村農政課と教育委員会にお願いした。その際に、牛肉にはBSEや放射能の影響はなく安全である旨を伝えた。学校が再開したこともあり、改めて本事業を実施するかについても希望調査を行った。希望があった市町村と現在、調整を行っている。②牛肉提供時に合わせて食育教材を配布することとしており、教材に事業目的を盛り込むなどして周知したい、との答弁がありました。

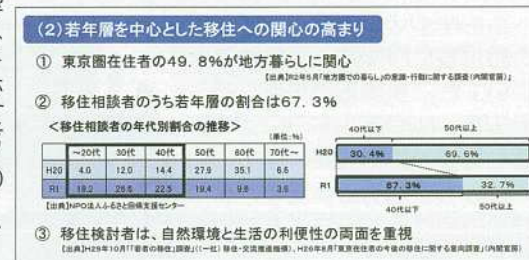
戸田市は手上げをしているため、戸田市の子供たちは給食で県産和牛肉を食べることができます。楽しみにしててくださいね！



地方創生・行財政改革特別委員会 県内への移住希望者が増加傾向！

地方創生・行財政改革特別委員会では、地方分権改革、魅力ある地域づくりについて審議しました。

このうち、県内への移住者の増加について、私は、①平成20年から令和元年にかけての移住相談者の推移における、40代以下の若年層の割合が増加しているが、その要因をどのように分析しているのか、②移住相談者について、テレワーク導入が拡大されていく中で、新型コロナウイルス感染症の影響によってどのように変化すると考えているのか、質疑しました。



これに対し、地域政策課長より、①まず、「NPO法人ふるさと回帰支援センター」での移住相談件数そのものが年々増えており、令和元年は約5万件である。若年層の増加について、同センターでは、リーマンショックや東日本大震災によ

り、安心安全を求めたり、自己欲求を満たしたりするよりも家族を大切にしたりするなど、ものの考え方や価値観などが大きく変わってきているからと分析している。また、都心在住で地方出身の若い世代の間で、就職・結婚した後に、都心よりも自然環境豊かなところで暮らしたいというニーズが高まっているということも聞いている。②テレワークが普及し、1週間に5日間通っていたのが、週に1日だけ、月に1回だけ本社に出社すれば済むという状況になれば、埼玉県は、都心に1時間圏内で通える点や自然が間近にあるという点で優位性があると考えます。今後、自然環境と生活の利便性を求める傾向が更に強まるのではないかと考える、との答弁がありました。

今後、「ウィズコロナ」の中で住む場所の多様性が広がり、埼玉県への移住者が増えることを願っています。



県政報告
レポート

新型コロナウイルス 感染症対策

緊急号

埼玉県議会議員
無所属県民会議

この桃子

この桃子
プロフィール



【経歴】昭和58年3月2日生、新曽小学校、頌栄女子学院
中学校・高校、慶應義塾大学、慶應義塾大学大学院法務
研究科(法務博士(専門職))、内閣府非常勤職員、国会
議員公設秘書、戸田市議会議員(2期)、埼玉県議会議員
(戸田市初の女性県議として当選)
【資格等】政党無所属、手話検定1級、書道師範、防災士

ご挨拶

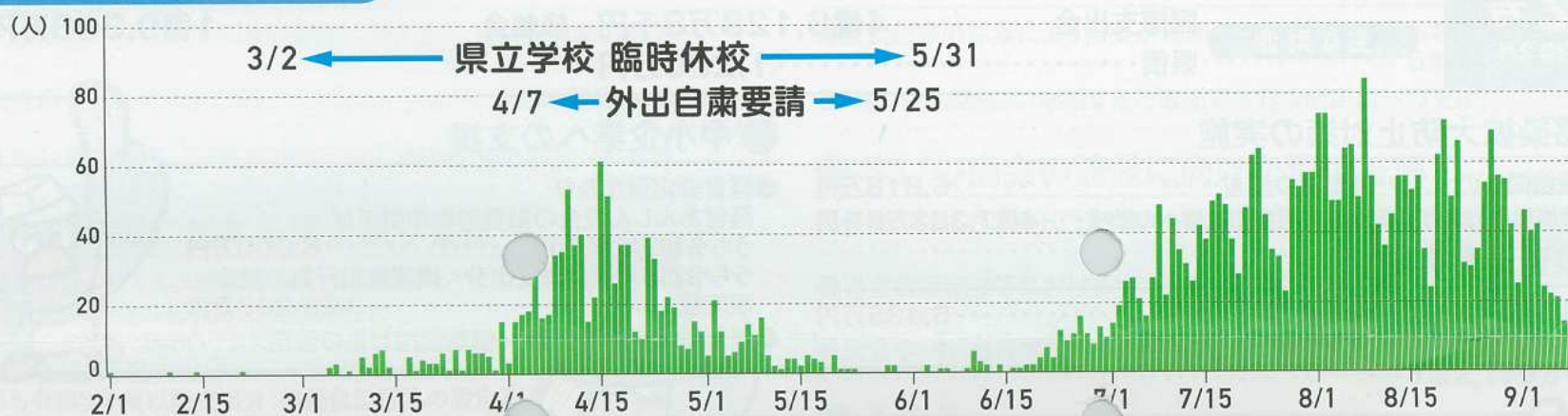
新型コロナウイルス感染症は日本に前代未聞の混乱と不安をもたらしています。埼玉県でも2月1日に最初の陽性者が確認され、いったん陽性者数は減少したものの、6月下旬から陽性者が再増加しており、緊張を解いてはならない非常に憂慮すべき状況が続いています。

埼玉県では、これまで総額約2,100億円の過去最大の補正予算を組み、全力で感染拡大防止に努めています。埼玉県の取組みと私たちの活動をご報告します。



県内の陽性者数の推移

出典:埼玉県「陽性確認者の推移」



新型コロナウイルスに関連した相談窓口について

受診などに関する一般的な電話・ファックス相談

(1) 埼玉県新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター
新型コロナウイルス感染症に関するご相談に一元的に対応しています。
ただし、学校の臨時休業等に伴う相談を除きます。

電話番号 **0570-783-770** 受付時間: 24時間(土日・祝日も実施)
保健医療部感染症対策課 FAX **048(830)4808**

(2) 帰国者・接触者相談窓口

発熱や呼吸器症状がある方は、医療機関を受診すべきかどうかなどの対応を相談できます。

電話番号 **048-762-8026** 相談時間: 9時20分~16時40分(月~土(祝日は除く))
FAX **048-816-5801**

外出自粛、施設の使用停止の
協力に関する電話相談

埼玉県緊急事態措置
相談センター

電話番号 **048-830-8141**
開設時間: 9時~17時(月~金※祝日除く)

県の支援・相談窓口情報

新型コロナウイルス感染症の影響による休業・失業などで収入が減少し、生活資金にお困りの人(個人事業主も含む)に向けて、特例貸付を実施しています。

詳細については窓口にてご確認ください。

名称	対象	相談・受付機関	
個人向け 緊急小口資金 などの特例貸付	緊急小口資金	休業などで収入の減少があった世帯	
	総合支援資金(生活支援費)	失業などで生活困窮となっている世帯	
事業者向け 新型コロナウイルス感染症対応資金	新型コロナウイルス感染症対応資金	売上高などが前年同期に比べて15%以上減少している事業者など	
	経営あんしん資金(コロナ対応)	対象: 売上高などが前年同期に比べて減少または減少見込みの事業者	
	経営安定資金 (コロナ対応)	経営安定資金 (災害復旧関連・セーフティネット保証4号・危機関連保証対応)	売上高などが前年同期に比べて15%以上減少している事業者
		経営安定資金 (特定業種関連・セーフティネット保証5号対応)	国が指定した業種を営み、売上高などが前年同期に比べて5%以上減少している事業者
緊急借換資金	売上高などが過去3年のいずれかの同期に比べて減少している事業者	地元の商工会議所・商工会または 県制度融資取扱金融機関	
国の持続化給付金	対象ひと月の売上が前年同月比で50%以上減少している事業者。	持続化給付金事業コールセンター 電話: 0120-115-570(8時30分~19時 土・祝日除く)	
相談内容	相談窓口	受付・相談時間等	電話番号
中小企業等への支援金に関する相談	中小企業等支援相談窓口	毎日9時から18時	0570-000-678(ナビダイヤル)
外国人向け相談(がいこくじんむけそうだん)	外国人向け新型コロナウイルス相談ホットライン (New Coronavirus Consultation Hotline)	毎日(まいにち)24時間(じかん)	048-711-3025(24時間 土日・祝日含む)

過去最大の
補正予算

新型コロナウイルス感染症対策



総額

約 2,167億 1,503万円

第1号

令和2年2月

補正予算の規模 一般会計 4億5,327万5千円 (補正後累計 1兆9,607億6,827万5千円)

主な財源 繰越金……………4億3,073万3千円 国庫支出金……………2,254万2千円

県民相談体制の強化

- 専用電話相談窓口「県民サポートセンター」の運営……………2億949万円
- 啓発用リーフレットの作成……………292万6千円

検査・医療提供体制の強化

- 感染症検査体制の整備……………4,000万円
- 医療機関受診体制の整備……………1億3,518万1千円
- 入院医療費の公費負担……………3,005万8千円

感染者フォローアップ体制の整備

- 13保健所に看護師を派遣……………3,562万円

第2号

令和2年2月

補正予算の規模 一般会計 6億6,636万8千円 (補正後累計 1兆9,614億3,464万3千円)

主な財源 国庫支出金……………4億6,128万8千円 繰越金……………1億9,308万円
県債……………1,200万円

感染拡大防止対策の実施

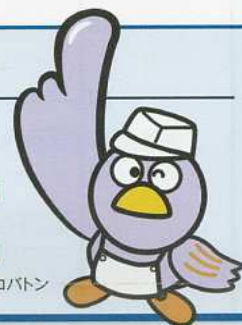
- 医療機関へのマスク・消毒液の配布……………6,818万円
- 介護施設等における多床室の個室化改修への助成……………4億7,383万8千円

検査体制の強化

- 保険適用PCR検査の公費負担……………6,435万円

中小企業への支援

- 経営安定資金及び経営あんしん資金の融資利率の引下げ
うち令和2年度支出……………6,000万円
うち令和3年度以降支出分<債務負担行為の設定>
限度額……………9億9,200万円
- 緊急借換資金の創設 <債務負担行為の設定>……………コバトン



第3号

令和2年4月

補正予算の規模 一般会計 511億781万円 (補正後累計 2兆125億4,245万3千円)
企業会計(地域整備事業)……………100億円

主な財源 (一般会計) 国庫支出金……………310億8,474万円 繰入金……………150億2,294万5千円
諸収入……………49億6,037万4千円

感染拡大防止策と医療提供体制の整備

介護施設等における感染拡大防止対策の実施

- マスク・消毒液等の配布……………12億7,396万5千円
- 簡易陰圧装置・換気設備の設置への助成……………8億7,280万円

検査体制の強化と感染の早期発見

- 県衛生研究所におけるPCR検査機器の増設や民間検査機関の活用による検査体制等の充実……………9億1,974万7千円
- 郡市医師会との連携による発熱外来PCRセンターの設置、運営……………4億1,400万円

情報発信の充実

- 感染拡大防止のための広報や知事記者会見における手話通訳の導入……………1億5,775万7千円

医療提供体制の強化

- 医療機関への感染防護具等の配布……………16億5,856万5千円
- 入院医療機関に対する簡易陰圧装置・人工呼吸器等の設備拡充への助成等……………3億9,256万4千円
- 入院患者受入れに対する協力金の支給や看護職員手当等への助成……………40億4,619万8千円
- オンラインでの診療や服薬指導に向けた導入支援……………1億4,498万4千円
- 軽症者等を受け入れる宿泊療養施設の確保……………60億3,553万6千円

学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備

- 放課後児童クラブ、放課後等デイサービス等の運営支援……………8億6,792万円

雇用の維持と事業の継続

中小企業に対する資金繰り支援

- 新型コロナウイルス感染症対応資金の創設等……………(制度融資枠:3,600億円 → 8,000億円)
うち、令和2年度支出分……………52億7,000万円
うち、令和3年度以降支出分<債務負担行為の設定>
限度額……………188億9,383万5千円

生活に困っている人々への支援

- 生活福祉資金の特例貸付に対する助成……………25億4,477万2千円

事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援

- 休業した中小企業・個人事業主への支援金等の支給……………121億円
- コールセンターの設置など中小企業からの相談等に対応する体制の充実……………6,382万円
- テレワークの緊急導入に向けた中小企業への支援……………6,072万9千円

その他

● 市内のテレワークの推進

- 県職員のテレワークに係る環境整備
..... 4,958万5千円



コバトン

● 基金への積立等

- 埼玉県地域医療介護総合確保基金への積み立て
..... 19億5,863万5千円
- 埼玉県新型コロナウイルス感染症対策推進基金への積み立て
..... 100億3,028万5千円
- 一般会計への貸付け《地域整備事業会計》
..... 100億円

第4号

令和2年6月

補正予算の規模 一般会計 53億203万3千円 (補正後累計 2兆178億4,448万6千円)

主な財源 国庫支出金.....12億8,460万9千円 繰入金.....40億1,742万4千円

● 休業した中小企業・個人事業主への支援金(追加分)の支給

第5号

令和2年6月

補正予算の規模 一般会計 107億4,118万1千円 (補正後累計 2兆285億8,566万7千円)

主な財源 諸収入.....46億7,980万円 国庫支出金.....36億2,187万9千円
繰入金.....18億7,819万4千円 県債.....4億5,600万円

● 感染拡大防止と第2波への備え

- 抗原検査の導入や民間検査機関におけるPCR検査体制の拡充
..... 14億5,527万6千円
- 重症患者治療体制を強化するためのTele-ICU体制整備への助成
..... 7,900万円
- 市町村が実施する新型コロナウイルス感染症対策事業への助成
..... 10億4,500万円

● 中小企業に対する資金繰り支援

- 新型コロナウイルス感染症対応資金及び経営安定資金の融資枠の更なる拡大
..... (融資枠:8,000億円 → 1兆2,000億円)
うち令和2年度支出分.....56億2,690万円
うち令和3年度以降支出分《債務負担行為の設定》
限度額.....127億5,710万円



コバトン

● 地域経済活動の回復に向けた支援

- 飲食店等の休業により需要が急減している県産和牛肉等の消費拡大
..... 6億4,244万8千円
- 「新しい生活様式」を踏まえた取組等を行う商店街への支援
..... 4,326万円

● 学びの機会の確保に向けた環境整備

- 県立学校におけるICT環境の早期整備による遠隔学習機能の強化
..... 7億4,963万8千円
- 児童養護施設等におけるオンライン学習の環境整備への助成
..... 6,050万円
- 公立小・中・高等学校等への学習指導員の追加配置
..... 1億2,179万1千円

● その他

- 児童虐待や自殺予防のための相談体制の強化..... 3,493万6千円
- 新型コロナウイルス感染症対策推進基金への寄附金の積み立て..... 1億525万円
- 豚熱の発生予防・まん延防止に係る費用への助成..... 1,526万円

第6号

令和2年6月

補正予算の規模 一般会計 1,484億4,435万9千円 (補正後累計 2兆1,770億3,002万6千円)

主な財源 国庫支出金.....1,514億9,251万6千円 寄附金.....1億5,500万円
財産収入.....36万6千円 繰入金.....△32億352万3千円

● 医療提供体制の強化

- 重点医療機関に対する病床確保・設備整備への助成
..... 285億6,723万円
- 医療機関・薬局等の院内感染防止対策への助成
..... 204億8,734万1千円
- クラスター化を防止するコロナ対策チーム(COVMAT)の設置・運営
..... 1億1,509万7千円

● 感染拡大防止対策等の推進

- 介護施設等における感染防止対策やサービス再開に向けた支援
..... 104億1,343万7千円
- 幼稚園及び県立学校における感染防止対策..... 12億3,571万1千円
- 地域公共交通における感染防止対策や運行継続への支援
..... 2億604万円

● 生活に困っている人々への支援

- 生活福祉資金の特例貸付に対する助成..... 136億6,794万1千円
- ひとり親世帯臨時特別給付金の支給..... 5億4,405万円

● その他

- 新型コロナウイルス感染症対策推進基金への積み立て
..... 1億5,536万6千円

● 医療・介護従事者等への支援

- 医療従事者等への慰労金の支給
..... 178億4,950万円
- 介護施設等の職員への慰労金の支給
..... 193億250万8千円
- 感染症治療に対応する医療従事者への支援
..... 1億6,000万円

● 中小・小規模事業者等への支援

- 中小企業・個人事業主等に対する家賃への支援
..... 120億2,354万7千円
- テレワークを導入する県内企業等への更なる支援
..... 6,347万8千円

● 児童生徒・保護者への支援

- 市町村立小・中学校における学習指導員等の追加配置に対する助成
..... 24億856万円
- 保護者が負担する修学旅行キャンセル料への支援
..... 1億8,402万3千円



コバトン

新型コロナウイルス感染症対策についてのこれまでの取組み

2月

- 県内で初の感染者が確認
- 県立病院でダイヤモンド・プリンセス号乗客の陽性者受入



知事への要望提出



提出した要望書

新型コロナウイルス対策に
大野知事に要望
県民会議と共産
中国から感染が拡大した新
型コロナウイルスによる肺炎
への対策を求め、県議会の会
派「県民会議」のメンバーが
4日、大野元裕知事に緊急要
請を提出した。共産党議員団
も同日、新型コロナウイルスに
ついて緊急要望した。
県民会議は予防法や、感染
の疑いがある際の医療機関へ
の送付方法などについての周
知、中国から帰国した子ども
や中国出身者へのいじめ防止
など項目を要請した。大野
知事は「県では国や他県より
も早く相談体制を構築した。
引き続き緊張感を持って対応
に当たっていく」と応じた。

埼玉新聞 2020年2月4日

会派 2月4日「新型コロナウイルスによる肺炎への対策を求める緊急要請」を知事に提出。

主要要望事項

- 感染状況・予防法など情報発信の強化
- 中国・武漢からの帰国者の一時隔離施設の確保など
- 医療機関・公的施設などへのアルコール設置

会派 2月26日 代表質問で知事に新型コロナ感染拡大防止対策を問う。

3月

- 県民サポートセンター開設
- 臨時休校開始



副教育長に「県民の声」を提出

会派 3月4日 国からの一斉休校要請を受け、所属議員の地元からの意見をまとめ、知事と教育長に「県民の声」として提出。

主要要望事項

- 児童相談所・県警におけるの見守り強化
- テレビ埼玉での教育コンテンツの放送など
- 中小企業者向けの特別融資あっせん制度
- 学校休業に伴う食品ロス対策

会派 3月27日 起草に関わった「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急対策を求める意見書」を他会派と共同提案し可決。国に提出。

4月

- 緊急事態宣言
- 軽症者のホテル受入開始
- 自宅療養者2名が死亡

会派 4月6日 県立学校の休校期間延長や医療体制の強化など「県民の声(第2弾)」として知事に提出。

主要要望事項

- 医療機関への防護服やフェイスシールド等 共
- 無症状・軽症者に対応するホテル確保(※当時は確保ゼロ)など

会派 4月8日 会派初のリモート会議を実施
4月13日 県対策本部に「要望事項①」を提出

主要要望事項

- 鴻巣免許センターでの3密回避
- 県庁職員の分散出勤・テレワークの推進など



リモート会議の様子

会派 4月30日 県対策本部に「要望事項②」を提出

主要要望事項

- 親が感染した子供の児童相談所による一時預かり
- 患者減少により経営困難となった医療機関の支援など

5月

- 郡市医師会の協力で「発熱PCRセンター」設置
- 彩の国「新しい生活様式」安心宣言がスタート

会派 5月20日 県対策本部に「要望事項③」を提出

主要要望事項

- 「埼玉高速鉄道」並びに「埼玉新都市交通」における3密回避の実施

6月

- 施設の使用停止の全面解除
- イベント開催制限の段階的緩和
- 6月定例会

会派 6月9日 県対策本部に「要望事項④」を提出

主要要望事項

- 保育所や幼稚園等における消毒作業に対する県の支援



議会運営委員会も広い会議室に移動して開催しました

会派 「エッセンシャルワーカーに対し敬意と感謝の意を表する決議」の草案を作成→全会派一致で可決

7月

- 夜の繁華街への外出自粛
- LINEコロナお知らせシステム開始

会派 6月定例会で設置された「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」に向けた調査を本格化

8月

- 彩の国「新しい生活様式」安心宣言の徹底
- 業種別の安心宣言の策定と実施

会派 財政、組織、情報発信、医療、福祉分野について提言

主要要望事項

- 詳しくは記事「特別委員会」の項目をご覧ください

ここで紹介した要望事項の多くが、順次県の施策に取り入れられました。また、要望書の全文は「無所属県民会議の公式ホームページ」からご確認ください。
<https://kenminkaigi.com>

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

2020年7月

こんのは、無所属県民会議から、並木まさとし議員(鴻巣市選出)、平松だいすけ議員(新座市選出)とともに「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」の委員(全18名)に選出されました。

特別委員会における無所属県民会議からの主な意見・提言

8月25日

財政・組織・情報発信

働き方・情報発信について

- 職員の働き方改革の推進。
- テレワークの実施率を高め感染リスクを下げる。
- ホームページを活用した情報発信の強化。

8月31日

医療・福祉

情報提供について

- 陽性者数は累計だけでなく現在数(入院数・宿泊療養数などの各種)も周知する。
- 県民の平等性を担保するために保健所側からの管轄市町村への情報提供を実施。

電話相談について

- 回線の強化や増員によりピーク時も各電話相談に一定の応答率を確保。

宿泊療養施設について

- 宿泊療養施設の確保の継続近隣都府県との広域搬送体制を検討。

9月2日

教育・雇用・経済

観光支援・教育支援について

- 5か年計画の「観光消費額」目標達成のための取り組み強化。
- 修学旅行や林間学校が実施できるよう努める・市町村立学校において的的確な支援。

ICT促進と中小企業支援について

- ICT支援員制度の実施を早急に検討。
- 中小企業・小規模事業者向けの「新しい生活様式」応援支援金事業等の実施。

その他、こんのが
取り上げた問題点

広域連携・国への要望

外出自粛などの広域連携や国との連携強化の具体策について

中小企業支援

外出自粛等で経営難になった医療機関等への支援について

教育

「学習の遅れ」により、退学に追い込まれるなど深刻な状況にある生徒生徒への支援について

引き続き、新型コロナウイルス対策に
しっかり取り組んでまいります。

皆様のご意見を募集しています!

皆さんからの声が活動の原動力です。県政に関するご意見・ご要望をお聞かせください。一つひとつの声を大切にフットワーク軽く対応してまいります。



無所属県民会議 戸田支部 こんの桃子

〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
TEL:048-235-5358 FAX:020-4669-8668
ホームページ <https://konnomomoko.com/> メールアドレス info@konnomomoko.com

ホームページは
こちらから



手話の普及・啓発



多くの新聞に取り上げられました!

埼玉県手話言語条例の更なる推進を!

コロナ禍において聴覚障がい者の情報保障が改めて重要視され、手話の更なる普及・推進が大切だと考えるが、知事のお考えは。また今後の具体的な工程表の策定や公開はできないか。



手話の普及・推進に全力で取り組む

私は誰一人取り残すことなく、ろう者の方々と心を通わせ、お互いを尊重し合える共生社会を目指していく。今後も手話の更なる普及・推進に全力で取り組む。

手話に関する施策を進めていく

施策の進捗や実績状況は、障害者施策推進協議会において報告し、頂いたご意見は県ホームページで公開しているが、今後はよりわかりやすい形に工夫していく。引き続き客観的な評価を行いながら施策を進めていく。



大野元裕知事は30日の県議会一般質問で「手話に関する県の施策をめぐり金野桃子氏(無所属)の質問に対し、「さらなる普及・推進に全力で取り組んでいく」と答弁した。大野知事によると、県は職員ら向けの手話講習会の開催や手話通訳者の育成に取り組んできたほか、市町



2020年10月1日 産経新聞

大野元裕知事は30日、県議会で手話を使った答弁を行った。金野桃子氏(無所属)の一般質問に答えた。大野知事が議会答弁で手話を使うのは初めて。

知事は手話の普及についての考えを問われ、音声で「手話通訳関係者の意見を伺いながら取り組みを進めている」とした上で、手話普及キャンペーンなどの実施で機運を醸成し、県内33市町村が手話に関する条例を制定したと説明。その後、手話で「今後も手話のさらなる普及・推進に全力で取り組む」と述べた。

2020年10月1日 埼玉新聞

聴覚障がい者の情報保障の拡充を!

「遠隔手話サービス」は、利用実績が0件である。埼玉県聴覚障害者協会は、セキュリティなどを理由に制度の見直しを求めている。また、コロナ禍で聴覚障がい者が診察時に手話通訳者の同席拒否などの差別事例が生じたとのことだ。事実を確認し理解を求めるときではないか。



今後も事業検証を継続する

利用実績がないのは従来通り手話通訳者が同席して対応できているためと考える。今後も引き続き、聴覚障害者の方や手話通訳者の方のご意見を伺いながら、利用頻度や利用のしやすさ、費用面等を勘案し、事業の検証を行ってまいる。

不当な差別的取扱いが生じないように努める

事実が確認された場合は、当該医療機関に対し適切な対応を求める。福祉部とも連携し、不当な差別的取扱いが生じないように努めていく。



史上初!

一般質問と議会答弁を手話で行いました



手話を使い質問するこの



手話で答弁する大野県知事

手話通訳者の育成・処遇改善を!

本年4月時点での手話通訳登録者数は114人であり、女性が多く、高齢化が進んでいる。手話通訳がボランティアではなく職業として認知されることが大切だ。また、手話通訳者が職業として認知されず、保育所に入所するのが困難だということだが、各市町村等に対し、保育所入所に必要な稼働証明書を発行するよう働きかけをできないか。



働きやすい環境づくりや、稼働証明書の発行について働き掛ける

手話通訳者はコミュニケーションを保障する極めて重要な役割を担っており、登録制度に登録され派遣される働き方が、職業として認識されることは大切だ。稼働証明書を発行していない市町村や市町村社会福祉協議会に対し、働きやすい環境づくりへの配慮を求め、今後の発行について働き掛ける。



子育て中の手話通訳者との意見交換会

「障害」の「害」の表記の協議を!

「障害」の「害」表記は賛否両論があるものの、マイナスイメージがもたらされるという考えから、全国の自治体でひらがな表記への見直しが進んでいる。埼玉県は平成21年度に漢字表記をする旨で決定してから、10年が経過しているが、全国的な見直しの流れの中で、改めて協議することはできないか。



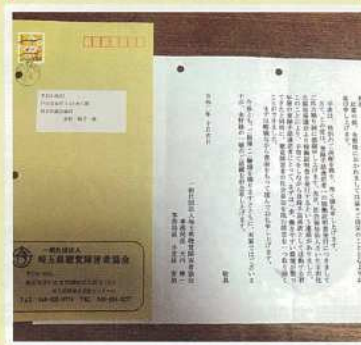
実現! その後
さいたま市で
手話通訳者に稼働証明が
発行されるようになり
ました!

当事者である障害者の方の意向を重視していく

埼玉県では、障害者施策推進協議会で漢字表記を用いることで決定し、障害者団体などから変更を求める要望はない。県内の主な団体の名称や発行物は現行の漢字表記となっている。当事者である障害者の方の意向が重要であり、障害者団体などからの御意見に耳を傾け、国などの動向を注視していく。



埼玉県聴覚障害者協会との意見交換会にて



コロナ禍における高校中退者へのフォローと就職支援の拡充



中退者の実態把握と就職支援体制の整備を！

①コロナの影響により中退に追い込まれている生徒がいないか、実態把握をするべきだ。②就職支援を行う職員やスクールソーシャルワーカーの加配ができないか。③他県で実施されているオンライン就職活動支援、就職支援担当教員などの確保等ができないか。④国は、家庭と教育と福祉の一層の連携等の推進が必要であり、社会参加に至るまで、切れ目ない支援が受けられる支援体制の整備を求めている。ハローワークとの連携など、就職後の定着支援をできないか。



こんの

2020年→
10月1日
埼玉新聞

実態把握に努め、積極的に就職支援を実施していく

①中途退学者の実態について、県立高校について調査を行った。7月時点において、コロナが原因の中退者は確認されていない。引き続き、実態把握に努める。②就職支援アドバイザーなどの人員は現状の配置で効果的に活用できている。③直接企業へ伺って求人を増やす、県内企業の採用情報のガイドブックを全県立高校に配布する等、各種取組を実行している。④内定者フォローアップ講習会で、悩みを相談できるヤングキャリアセンターなどを紹介し、職場定着の支援や、また、学校とハローワークで卒業生の情報共有の連携を図り、個別支援に努めている。今後も外部機関と積極的に連携していく。



教育長

金野 桃子氏 (議員、戸田市)
【質問】県立学校では母子家庭の生徒から、コロナ禍で母親が解雇され、学校をやめざるを得ないと相談があったと聞く。県高校教育指導課は進路面の影響はないとの見解だ。この報道があったが、高校中退者の実数が減つても、実数に表れていない声に寄り添うべきだ。コロナの影響で中退に追い込まれる生徒の実態を把握し、就職を支援する教員やスクールソーシャルワーカーの加配ができないか。他県で、就職支援担当教員、連携コーディネーターの確保などを行っているが、同様の取組

生徒の中退阻止へ支援を

【高田教育長】新型コロナウイルス感染症の影響で中途退学に至った事例について学校への聞き取りの結果、7月末時点では確認されなかった。就職支援が必要な県立高校には就職支援アドバイザーを、家庭環境などに課題を抱える生徒が多い学校にはスクールソーシャルワーカーを配置しており、効果的に活用できている。卒業後に相談できるヤングキャリアセンターの紹介や、ハローワークとの情報共有に努めており、今年度から学校の進路担当者へ福祉の知見を有した講師による研修会も新たに実施する。



コロナによる高校中退に関するヒアリング

動物愛護の推進



殺処分ゼロに向けた取組の強化を！

「埼玉県5か年計画」において令和3年度までに犬猫の殺処分数を600頭とする目標を掲げている。5か年計画の終期を来年度に控え、今後どのような取組を進めていくのか。また、飼い主探しにSNSサービスを利用する取組を行うべきでは。



こんの

一日も早く殺処分ゼロを実現できるよう努める

野良猫の避妊手術費用を補助する制度を充実させ、收容される子猫を減らす取組を進めている。飼い主探しについては、議員が提案するSNSの活用という新たな視点も取り入れ、譲渡事業を拡充していく。



野良猫の避妊手術で收容される子猫を減らす



保健医療部長

駅前等での譲渡会の開催の許可を！

新しい飼い主を探す「譲渡会」を、より衆目のある公共の場所で開催できないか。



こんの

今後もニーズに応えながら対処をしていく

譲渡会の方々が道路を使用し活動する場合は、道路使用許可が必要である。県内における許可件数について、県警察では、令和元年中、譲渡会の活動に対し92件の道路使用を許可している。今後もニーズに応えながら、対処をしていく。



こんのは地域猫活動に取り組んでいます



警察本部長

デジタル県庁の推進



行政サービスのデジタル化やIT技術の活用を！

新内閣発足後、国家規模でデジタル化の推進が行われている。埼玉県としても、行政サービスのデジタル化やデジタルを活用した働き方の推進など、デジタル県庁の更なる推進が必要だ。名称についてもアピールしやすい、分かりやすいものを作るべきではないか。



こんの

先端技術の活用による県民サービスの向上などに取り組んでいる

コロナ禍によるデジタル化の社会的需要を受け、ペーパーレス化、AI・RPA*などの先端技術の活用による業務の効率化、電子申請の拡大による県民サービスの向上などに取り組んでいる。名称については、国の動向や一度以降の業務内容を踏まえ、適切に対応したい。

*AI/人工知能 (Artificial Intelligence)、RPA/ロボットを使用した定型作業の自動化 (Robotic Process Automation)



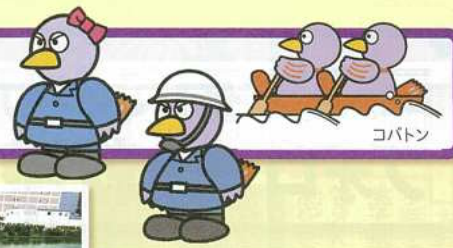
県庁でも働き方改革を推進中



企画財政部長

続きは裏面へ

浸水被害対策など地元問題



戸田公園ボートコースの水草・アオコ対策を！

戸田公園ボートコースでは、平成29年頃より藻や水草が大量に発生し、ボート競技に支障をきたしている。かいぼりの検討も含め、水草及びアオコ対策を着実に進めてほしい。



ボートコースに発生するアオコ



藻狩りによる対策を行っています

専門家を含めて対策を検討している

気象・水温・水質などの要素が関わり、抜本的な解決は非常に難しい状況にある。かいぼりは、全ての水を抜く必要があるため、処理自体の課題や長期処理による競技開催不可課題などが生じる。更に効果的な対策がないか、協議会の中で検討を続ける。



都市整備部長

笹目川及び戸田公園周辺の治水対策を！

昨年10月の台風第19号に際し、県は笹目水門を閉めた事実を地元市町村である戸田市に情報提供していなかった。笹目水門が閉まれば、笹目川の水が戸田公園ボートコースに流れ込む事は容易に想像でき、地元市町村として避難指示等を出すこともできる。今後は情報提供すべきだ。また、笹目川から戸田公園ボートコースをつなぐ取水水門は、水門上部が笹目川護岸より低く水門を閉めても容易にボートコースに水が流れ込む。戸田公園ボートコースを「調節池」「遊水池」として指定すべきだ。指定しないなら、水門の高さを笹目川護岸と同じ高さまで整備すべきだ。更に、増水が予見されるケースで、事前に水量の調整を行うことができないか。



この



ボートコースの水量調整が課題

効果的・効率的な対策の検討を進めていく

取水水門は改修する方向で協議調整をする。現時点では、戸田公園ボートコースを「調節池」または「遊水池」として指定する予定はない。水位調整については、平成15年度より、あらかじめ水位を下げておく運用を行っている。引き続き、関係機関との連携を図りながら、効果的・効率的な対策の検討を進めていく。



県土整備部長

荒川水循環センターの放流能力の向上を！

昨年10月の台風第19号の際における状況を鑑みると、早急に荒川循環センターの放流能力を向上させる必要があると考える。



この

改修工事に着手しており、台風シーズン前には完了させている

昨年の台風第19号では、昭和47年に水循環センターを供用開始して以来、荒川の水位が最高を記録して放流しづらい状況にあった。今年4月から水循環センターの放流能力を向上させる改修工事に着手をしており、台風シーズン到来前の8月に完了させている。こちらを踏まえて、昨年同様の状況が発生した場合でも、流入する雨水をよりスムーズに荒川に放流することが可能だと考えている。



下水道事業管理者



台風19号では市内各所で浸水被害が発生

一般質問を終えて

県議会議員としてはじめての一般質問を終えることができました。市議会では、年4回の議会で希望者は全員一般質問に登壇できましたが、県議会では、人数が多いため、4年間の任期中に登壇できるのは2、3回です。そのため、今回の一般質問に臨むにあたり、数ヶ月前から現場確認、当事者の方々との意見交換、県庁でのヒアリングを重ねました。当日は、大変緊張しましたが、多くの方が傍聴にお越しくださり、力になりました。全体的に前向きな答弁が多く、一定程度成果を出せたと思いますが、残された課題については引き続き粘り強く求めて参ります。

県議会議員としてはじめての一般質問を終えることができました。市議会では、年4回の議会で希望者は全員一般質問に登壇できましたが、県議会では、人数が多いため、4年間の任期中に登壇できるのは2、3回です。そのため、今回の一般質問に臨むにあたり、数ヶ月前から現場確認、当事者の方々との意見交換、県庁でのヒアリングを重ねました。当日は、大変緊張しましたが、多くの方が傍聴にお越しくださり、力になりました。全体的に前向きな答弁が多く、一定程度成果を出せたと思いますが、残された課題については引き続き粘り強く求めて参ります。



テレビ埼玉にて放映されました



傍聴に来てくださった方との集合写真



大野県知事と



無所属県民会議の皆さんと



戸田の会の皆さんと

皆様のご意見を募集しています！

皆さんからの声が活動の原動力です。県政に関するご意見・ご要望をお聞かせください。一つひとつの声を大切にフットワーク軽く対応してまいります。



無所属県民会議 戸田支部 このの桃子

〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
TEL:048-235-5358 FAX:020-4669-8668
ホームページ <https://konnomomoko.com/>
メールアドレス info@konnomomoko.com

ホームページは
こちらから

